

■松本清張 小説家。いわゆる社会派推理小説で一世を風靡、のち、ノンフィクション、歴史小説でも旺盛な創作。

まつもとせいちょう

伊藤博文暗殺1909 = 福岡県企救郡板櫃村(北九州市小倉北区)で、投機や事業好きな父のもと、長男に生まれる。
韓国併合・・1910 = 1歳：父が事業に失敗したため、祖父母を頼って、一家は下関に移る。

明治天皇没・1912 = 3歳：

民本主義・・1916 = 7歳：一家で母の知人頼って小倉に戻り、尋常小学校に入学。

ロシア革命・1917 = 8歳：小倉市に移住、転校。

本格政党内閣1918 = 9歳：

得意な図画では成績一番、

原敬首相暗殺1921 = 12歳：

関東大震災・1923 = 14歳：この年、父が飲食店を開業するも、またも経営難に陥り、
護憲三派圧勝1924 = 15歳：尋常高等小学校高等科を卒業。父に職業紹介所に連れて行かれ、電気会社の給仕となり、
取引先の東洋陶器課員の多島田明に刺激を受けながら、文芸書に親しむうち、

金融恐慌・・1927 = 18歳：不況で会社が事業縮小し、失職。画工見習募集を見て、石版工を志すも断られ、
共産党事件・1928 = 19歳：母の伝手を頼って、印刷所に見習い職人として就職すると、たちまち第一人者となるが、
世界恐慌・・1929 = 20歳：文学仲間がプロレタリア文芸雑誌を講読していて、特高に検挙され留置、父には読書を禁じられる。
海軍軍縮条約1930 = 21歳：徴兵検査受け、身体虚弱のため、第二乙種補充兵となり、兵役免れ、
満州事変・・1931 = 22歳：

国際連盟脱退1933 = 24歳：技術を磨くため、福岡市のオフセット印刷所に入るなど、両親の面倒を見るべく、仕事に専念、印刷所の
米びつと呼ばれるほどになり、

二二六事件・1936 = 27歳：独立めざして、結婚。

日中戦争始・1937 = 28歳：小倉に朝日新聞九州支社開設の記事知るや、支社長へ就職依頼の手紙、広告部臨時囑託に採用され、

健保+総動員1938 = 29歳：長女が誕生。この間、時間外には自宅で他社の仕事をこなすなどして、収入は大幅に増え、

第二次大戦始1939 = 30歳：仕事が認められて、囑託となり、

大政翼賛会・1940 = 31歳：長男誕生。西部本社になると、常勤囑託に昇り、

日米開戦・・1941 = 32歳：

会社における学歴差別に悩み、校正係主任に教えられた考古学に興味を抱くうち、

・・・・・1942 = 33歳：次男が誕生後、

創価学会検査1943 = 34歳：3ヶ月の教育召集となり、最下級で入隊し地獄体験、解除にされ、正社員に昇格して喜んだのも束の間、

年金+総武装1944 = 35歳：再び召集され、福岡の第二十四連隊に入隊、朝鮮で衛生兵として勤務。家族は妻の実家に疎開。

敗戦・・・1945 = 36歳：上等兵となり、敗戦を迎える。本土に送還され、復職。小倉市に居を構える。

新憲法公布・1946 = 37歳：

三男誕生。
広告部意匠係として勤務のかたわら、図案家として活躍。

朝鮮戦争始・1950 = 41歳：{週刊朝日}の懸賞小説に応募、「西郷札」が3等となる。

独立回復・・1951 = 42歳：*「西郷札」が直木賞候補となり、激励される。

メーデー事件・1952 = 43歳：選考委員木々高太郎に勧められ、{三田文学}に「記憶」或る「小倉日記」伝を発表。

TV放送始・1953 = 44歳：*直木賞から回付された「或る小倉日記」伝が芥川賞。続く作品を発表するとともに、東京本社に転勤。

自衛隊発足・1954 = 45歳：練馬区に居を構え、家族を呼び寄せる。以後旺盛な創作意欲を見せ、長編一本を含む13本の作品を発表、

55年体制始・1955 = 46歳：22本の作品発表、

国連加盟・・1956 = 47歳：朝日新聞を退社し、創作に専念。長編三本を含む32本の作品を発表、

なべ底不況・1957 = 48歳：母が死去。「顔」で日本探偵クラブ賞。「点と線」「眼の壁」ほかの連載。

イタタチ病・1958 = 49歳：*「点と線」「眼の壁」が出版され、ベストセラーとなる。「ゼロの焦点」ほかの連載、「ある小官僚の抹殺」など

を発表し、いわゆる社会派推理小説ブームを起す。

美智子妃・・1959 = 50歳：執筆量の限界をためそうとして、書癪にかかり、速記に頼るようになる。「小説帝銀事件」で文芸春秋読者

安部闘争・・1960 = 51歳：賞。ほかに、「波の塔」など連載だけで7本という驚くべき仕事量であった。

{文芸春秋}に連載の「日本の黒い霧」でノンフィクションに進出、「黒い霧」は流行語となった。ほかに、新

連載は「砂の器」など7本。

イタイイタイ病始・1961 = 52歳：杉並区に自宅を新築。11本の新連載を含む25の作品を発表。所得番付で作家部門の第一位となるに至る。

全国総合計画1962 = 53歳：父が死去。「けものみち」など5本の新連載を含む22の作品を発表。

TV宇宙中継始1963 = 54歳：日本ジャーナリスト会議賞。日本推理作家協会理事長に就任。以後も多数の作品を発表。

東京初大成功1964 = 55歳：初めての海外旅行。{週刊文春}に「昭和史発掘」の連載開始、7年近い長期執筆となる。

大学紛争始・1965 = 56歳：中近東に取材旅行。「Dの複合」ほか。

いざなぎ景気1966 = 57歳：{中央公論}に「古代史疑」を連載、仕事を古代史の領域まで広げた。

美濃部都知事1967 = 58歳：「昭和史発掘」などにより、第一回吉川英治文学賞。

霞ヶ関バブル・1968 = 59歳：キューバ政府主催の世界文化会議に出席。北ベトナムを旅行して、ファン・バンドン首相との単独会見に

成功。腹膜炎により入院後、ヨーロッパへ取材旅行。

全共闘バブル・1969 = 60歳：ラオスに取材旅行。妻子とともに東南アジア旅行。

大阪万博・・1970 = 61歳：「昭和史発掘」などにより、菊池寛賞。古代史関連の仕事が増える。

ドルショック・・1971 = 62歳：「松本清張全集」第1期刊行開始。日本推理作家協会理事長を退任、会長に就任。{週刊朝日}に、自らの兵

隊体験に根ざす強烈な復讐劇「遠い接近」を連載。

日中国交回復1972 = 63歳：

石油ショック1973 = 64歳：中近東、北欧、ベトナムなど旅行。

角栄金脈辞任1974 = 65歳：初めての沖縄旅行。「松本清張全集」第1期完結。

クアラルンプール事件1975 = 66歳：黒幕として、創価学会と日本共産党の和解にこぎつけ、世間をアッと言わせた。

田中角栄逮捕1976 = 67歳：毎日新聞世論調査で好きな著者の第一位となる。

JALバジャック1977 = 68歳：アメリカ・カナダに取材旅行。朝日新聞が福岡で開催した「第1回邪馬台国シンポジウム」司会役となり、

成田衝突・・1978 = 69歳：ヨーロッパ、イラン、東南アジアなど海外取材。NHK放送文化賞。霧プロダクションを創設。

革新大敗北・1979 = 70歳：「第3回邪馬台国シンポジウム」で、かねて反撥していたパネリスト井上光貞と衝突、以後降ります。

・・・・・1981 = 72歳：

中曽根内閣・1982 = 73歳：「松本清張全集」第2期刊行開始。

ドイツユーロバッド1983 = 74歳：朝日放送の特別番組で、初めて訪中、続いてインド内を歴訪。

・・・・・1984 = 75歳：「松本清張全集」第2期完結。テレビ朝日の特別番組を監修、出演。霧プロダクションを解散。

ジャンボ機墜落1985 = 76歳：西武美術館で松本清張展。映画・テレビのため「霧企画」を設立。前年に続き、ヨーロッパへ取材旅行。

バブル始・・1986 = 77歳：東欧、イギリスに取材旅行。

竹下内閣・・1987 = 78歳：ヨーロッパへ取材旅行。グルノーブルでの「世界推理作家会議」に出席し、講演。

リクルート事件・1988 = 79歳：体調を崩して入院。

昭和天皇没・1989 = 80歳：久しぶりの短編「泥炭地」が話題になる。再び入院、手術を受ける。ヨーロッパへ取材旅行。

ドイツ統一・・1990 = 81歳：ヨーロッパへ取材旅行。「朝日賞」。

ソ連崩壊・・1991 = 82歳：作家活動40年を記念、民放4局で一年間、月一本ドラマ化して放送。

バブル崩壊・1992 = 83歳：「1952年日航機撃墜事件」を上梓直前、脳出血で倒れ、のち肝臓癌が判明し、没した。

新潮日本文学アルバム、森史朗「松本清張への召集令状」、「この人どんな人」、「目でみる日本人物百科」、